

明石海浜プール管理基準

（目的）

第1条 この基準は、明石市都市公園条例及び同施行規則に定めるもののほか、明石市が設置する明石海浜プール（以下「海浜プール」という。）の管理について必要な事項を定めるものとする。

（プール責任者）

第2条 海浜プールに運営管理全般を担当するプール責任者と管理全般を担当するプール副責任者を置く。

（使用料の徴収）

第3条 海浜プールに入場しようとする者（業務のため入場する者及び招待者その他プール責任者が特に認めた者を除く。）は、明石市都市公園条例（昭和39年条例36号）別表に定める使用料を納付しなければならない。使用料は、特別の場合を除き、入場の際に徴収する。

（入場券の発行）

第4条 使用料を納めた者には入場券を発行する。その通用は、特別の場合を除き、発行当日限りとする。

（更衣ロッカーの使用）

第5条 更衣ロッカーの使用時間は、使用者の退場時までとする。

2 コインロッカーは、費用弁償として1回につき100円を雑入として徴収する。

3 既納の料金は還付しない。ただし、コインロッカーが故障し、使用できない場合は、この限りでない。

4 コインロッカーの鍵を紛失したときは、器具交換費として実費を徴収する。

5 プール責任者は、コインロッカーの使用について、使用者に滅失、盗難等の損害が生じても責任を負わない。

（入場の制限）

第6条 次の各号に該当するときは、海浜プールへの入場を認めない。

（1） 公の秩序又は善良な風俗を害し、又は他人に危害若しくは迷惑をおよぼすおそれのあるとき。

（2） 他人に危害又は迷惑をおよぼすおそれのある物品若しくは動物を携行するとき。

- (3) 保護者の同伴しない小学生以下の児童及び幼児が入場しようとするとき。(保護者又は責任者が同伴又は引率していても児童及び幼児が多数で、監督が十分行き届かないと判断される場合を含む。)
- (4) 病気(眼病、皮膚病、その他伝染の恐れある者)の人又は酒気をおびた人が入場しようとするとき。
- (5) 係員の指示に従わないとき。
- (6) その他施設の管理上支障があると認めるとき。
- (7) 光化学スモッグ及び警報等が発令されたとき。

(行為の禁止)

第7条 海浜プールの入場者は、次の各号に掲げる行為をしてはならない。

- (1) 他人に危険又は迷惑を感じさせる行為、又は危険な遊戯、若しくは悪ふざけをすること。
- (2) 50メートル以上の泳力のない者又は小学生以下の児童及び幼児が50メートルプールを使用すること。ただし、小学生で50メートル以上の泳力があり、かつ保護者が同伴する場合を除く。
- (3) 必要なくプールサイドを走り又はプールへ飛び込むこと。
- (4) 物品販売等の営業行為又は各種の宣伝行為をすること。
- (5) 立入禁止区域内に立入ること。
- (6) 危険な玩具及び器具又はびん等ガラス類及びかん類若しくはプールを汚す恐れのあるものをもち込むこと。
- (7) プールでの水中メガネ、足びれ及びボート等を使用すること。
- (8) 水着を着用せず、又は体にオリーブ油等油類をぬり、プール又はプールサイドに立入ること。
- (9) 認められた場所以外で飲食をすることやプール施設内で喫煙すること。
- (10) その他、注意表示及びプールの管理上必要と認める事項に違反すること。

2 前項の規定に違反する者に対しては、プール責任者は、退場を命ずることができる。

(使用料の減免)

第8条 スポーツ施設の使用料の減免は、別表のとおりである。

(管理業務の一部委託)

第9条 プール責任者は、海浜プールの管理を円滑に行うため、当該管理

業務のうち施設の警備及び清掃、設備機器の管理、駐車場の整理等一部業務については、市と協議の上、特定の者に委託することができる。

（飲食物等の販売）

第 10 条 プール責任者は、入場者への便宜供与のため、市長の許可により海浜プールに食堂及び売店を設置するほか、移動販売車又は自動販売機により、飲食物等を販売することができる。

2 プール責任者は、廉価で良質な飲食物等を販売するため、市長が必要と認めるときは、当該飲食物等の提供業務を特定の者に委託することができる。

（公衆電話の設置）

第 11 条 プール責任者は、入場者への便宜供与のため、市長の許可により公衆電話を設置することができる。

（水泳教室の開催）

第 12 条 プール責任者は、市民のスポーツ及び野外活動の振興に寄与するため、海浜プールの一般使用に支障のない範囲内で、水泳教室を開催することができる。

（損害賠償）

第 13 条 海浜プールの施設又はこれに付随する物件をき損し、又は滅失し、若しくは紛失した者は、その行為によって生じた損害を賠償しなければならない。

（雑則）

第 14 条 この基準に定めるもののほか、海浜プールの管理上必要な事項は、市と協議の上、プール責任者が定める。

附 則

この基準は、平成 23 年 4 月 1 日から施行する。

この基準は、平成 24 年 4 月 1 日から施行する。

この基準は、平成 25 年 9 月 20 日から施行する。

この基準は、平成 28 年 2 月 1 日から施行する。

この基準は、平成 29 年 9 月 20 日から施行する。

この基準は、令和 4 年 7 月 15 日から施行する。

別表 公園施設使用料等の免除等の取り扱いについて

減 免 対 象				施設使用料	付属設備	冷暖房設備 電源
(1) 本市が主催する行事に有料公園施設を利用するとき。(対象大会等)						
明石市中学校総合体育大会	明石市高等学校総合体育大会	明石市主催指導者養成講習会	明石市学童水泳記録会	全額免除	全額免除	免除なし
明石市スポーツ少年親善交流スポーツ大会	スポーツクラブ 21 交流フェスティバル	明石市スポーツフェスティバル	明石市民ショートテニス大会			
小学生ニュースポーツ大会	(東播地区中学校総合体育大会)					
(2) 国及び地方公共団体が、公益のため都市公園(有料公園施設を除く)を利用するとき。				全額免除	全額免除	免除なし
(3) 本市が共催する行事に有料公園施設(プール及び夜間照明設備を除く。)を利用するとき。				半額免除	半額免除	免除なし
(4) 学校教育法第1条に規定する市内の学校が、学校行事として有料公園施設(プール及び夜間照明設備を除く。)を利用するとき。						
学校行事 (クラブ活動) 土日及び祝日以外 18時までの 3時間以内	* 学校長名で申請する。 * 利用責任者は、教諭とする。 * 利用許可申請書の受付は、利用日の1ヶ月前からとする。			半額免除	半額免除	免除なし
	明石海浜公園テニスコート	一か月前から前日の申込分		4面3時間まで半額免除		
		当日一般利用者の予約が少ない場合		2面3時間まで追加免除できる		
	魚住北公園テニスコート	一か月前から前日の申込分		2面3時間まで半額免除		
(5) 市長が指定する少年団体が公益上の目的で有料公園施設(プール及び夜間照明設備を除く。)を利用するとき。						
子ども会 ボーイスカウト・ガールスカウト 明石リトルリーグ 明石ジュニアソフトボール同好会及びこれに類するもので、活動主体が小学生以下のもの 明石市体育協会加盟種目団体で活動主体が小学生以下のもの 中学生スポーツクラブ				半額免除	半額免除	免除なし
(6) 心身障害者及びその介添者が有料公園施設(夜間照明設備を除く。)を利用するとき。				半額免除	半額免除	免除なし
(7) その他市長が特に必要と認めるとき。(プール及び夜間照明設備を除く。)						
明石市内の保育所(明石市立の保育所を除く)の保育所行事(プールを除く。)に利用する場合				半額免除	半額免除	免除なし
明石市の行政における協力組織(自治会、公園愛護会、老人会、婦人会、子ども会、青年団、消防団員等)が地域の用に供するため都市公園(有料公園施設を除く。)を使用する場合				全額免除	全額免除	免除なし
市長が指定する少年団体が公益上の目的をもって、明石市全域の同一団体で実施する大会等の行事で、有料公園施設以外の都市公園を使用する場合				全額免除	全額免除	免除なし
文化・スポーツ部スポーツ振興担当が指定する明石市体育協会主催の大会				半額免除	半額免除	免除なし
教育委員会、文化・スポーツ部スポーツ振興担当が指定する大会				半額免除	半額免除	免除なし
指定管理者が、公益目的のため利用する場合				主催＝全額 共催＝半額	主催＝全額 共催＝半額	免除なし